

第1号(一九六三・二)横浜市の未来像

第2号(一九六四・二)横浜市の行政水準

第3号(一九六四・六)子供を大切にす市政

第4号(一九六四・八)だれでも住みたくなる都市づく

くり

第5号(一九六四・二)海外から見て横浜を考える

第6号(一九六五・二)地方行政の改革と近代化

第7号(一九六五・五)宅地開発の現状と対策

第8号(一九六五・八)戦後20年―市行政の再検討

第9号(一九六五・二)「横浜の都市づくり」に

提案する

第10号(一九六六・二)区役所問題

第11号(一九六六・五)横浜文化論―新しい文化の創造は可能か

造は可能か

第12号(一九六六・八)首都圏と横浜

第13号(一九六七・二)新しい横浜の記録

第14号(一九六七・六)大都市圏の問題

第15号(一九六七・九)行政の再点検と提案

第16号(一九六七・二)統一行政の再点検と提案

第17号(一九六八・二)公害対策―横浜方式

第18号(一九六八・八)二〇〇万都市

第19号(一九六八・三)郊外部開発の諸問題

第20号(一九六八・三)転換期の福祉行政

第21号(一九六九・三)市民の安全

第22号(一九六九・八)都市と緑

第23号(一九六九・二)都市化と老人問題

第24号(一九七〇・一)基地と市民運動

第25号(一九七〇・三)京浜工業地帯

第26号(一九七〇・六)余暇とその環境

第27号(一九七〇・二)都市廃棄物

第28号(一九七一・三)六大事業の経過と今後の方向

第29号(一九七一・三)新市民と自治

第30号(一九七一・六)水資源と水行政

第31号(一九七一・九)住宅問題の諸側面

第32号(一九七一・三)自動車化と道路・交通問題

第33号(一九七二・三)都市環境と生物指標

第34号(一九七二・六)都市化と財政

第35号(一九七二・九)住民と「知る権利」

第36号(一九七二・三)住民の要求と行政の対応

〈意識調査から〉

第37号(一九七三・三)地方公務員と職業倫理

第38号(一九七三・六)住工混合地域の環境整備

――「計画」の前提を考える

第39号(一九七三・九)大都市における地域行政

――区役所のあり方を中心に

第40号(一九七三・三)大地震の対策と不安

第41号(一九七四・三)都市と精神の問題

第42号(一九七四・六)都市エネルギーの諸問題

第43号(一九七四・九)出稼ぎ労働の問題点

第44号(一九七四・三)消費者と物価

第45号(一九七五・三)「福祉」問題再考

第46号(一九七五・六)都市と家族の問題

第47号(一九七五・九)アーバンデザインの課題

第48号(一九七五・三)地方財政危機をめぐって

第49号(一九七六・三)区民生活と行政の対応

――緑区の調査事例を中心に

第50号(一九七六・六)都市行政の主体性

第51号(一九七六・九)都市のなかの川

第52号(一九七六・三)都市と港湾

第53号(一九七七・三)横浜の文化と行政

第54号(一九七七・六)市民の医療と行政

第55号(一九七七・九)都市における学校

第56号(一九七七・三)低成長下横浜の行財政

第57号(一九七八・三)地区計画と住民

第58号(一九七八・六)都市における資料館

第59号(一九七八・九)横浜の緑と保存

第60号(一九七八・三)横浜の盛り場

第61号(一九七九・三)地域施設の管理・運営

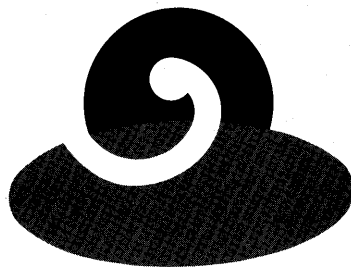
第62号(一九七九・六)都市と子ども

第63号(一九七九・九)横浜の地下

第64号(一九七九・三)市民の食料と食生活

第65号(一九八〇・三)横浜の国際性

- 第66号へ一九八〇・六へ歩行者空間
- 第67号へ一九八〇・九へ市民と健康
- 第68号へ一九八〇・三へ老人問題と福祉行政
- 第69号へ一九八一・三へ都市の自治
- 第70号へ一九八一・六へ都市住宅問題をめぐって
- 第71号へ一九八一・九へ共生の時代
- 第72号へ一九八一・三へ婦人問題
- 第73号へ一九八二・三へアジアの都市と横浜
- 第74号へ一九八二・六へ横浜と農業
- 第75号へ一九八二・九へ横浜と工業
- 第76号へ一九八二・三へ都市と水環境
- 第77号へ一九八三・三へ職員の自主研究
- 第78号へ一九八三・六へ市政情報の整備と利用
- 第79号へ一九八三・三へ横浜市政と行政
- 第80号へ一九八四・二へ高齢社会の課題
- 第81号へ一九八四・三へ市民・地域・行政
- 第82号へ一九八四・九へ緑保存の方策
- 第83号へ一九八四・二へ横浜と商業
- 第84号へ一九八五・二へ福祉と民間活力
- 第85号へ一九八五・三へ区行政―あり方と個性ある地域づくりの試み
- 第86号へ一九八五・二へ都市とイベント
- 第87号へ一九八五・三へ横浜の産業政策―企業誘致活動を中心に
- 第88号へ一九八六・二へ市民と図書館
- 第89号へ一九八六・三へ国際化時代の市民と行政
- 第90号へ一九八六・九へまちの活力と行政
- 第91号へ一九八六・二へ家族機能と自治体行政
- 第92号へ一九八七・一へ横浜の公共交通
- 第93号へ一九八七・三へ地域情報・行政情報
 - ―横浜の広報力を考える
- 第94号へ一九八七・六へ博物館を考える
- 第95号へ一九八七・九へ子どもとまち
 - ―遊び・自然・まちづくり
- 第96号へ一九八七・三へ都市とこみ
 - ―こみとの共存をめざして
- 第97号へ一九八八・三へまちの特徴づくり
 - ―歴史、文化とのかかわりのなかで
- 第98号へ一九八八・六へみなと
 - ―現状と新しい動き
- 第99・100号へ一九八九・一へ横浜論
- 第101号へ一九八九・三へ市民と生涯学習



YES'89

YOKOHAMA EXOTIC SHOWCASE

横浜博覧会

●第96号へ一九八七年十二月
特集・都市とごみ—ごみとの共存をめざして

- 生活の変化・ごみの変化 — 石澤清史
横浜のごみこれまでの流れ — 小泉富太郎
横浜のごみ現状と課題 — 太田次郎
事業活動とごみ — 三田 修
都市とごみ — 山本耕平
米国の廃棄物情勢 — 池口 孝
ゴミ問題の行き着く先 — 藤田祐幸
新書紹介／ガボロジとエントロピー — 江成卓史

●第97号へ一九八八年三月
特集・まちの特徴づくり

- 歴史、文化とのかかわりのなかで
まちづくり運動の構図と射程 — 西村幸夫
地域の歴史と市民の活動 — 岩崎 肇
①「瀬谷区の歴史を知る会」を想う — 斎藤恒樹
②いま宿場がもしろい — 北沢 猛
横浜の歴史的、文化的資産を生かす
①「保存」をまちづくりから考える — 齋藤文人
②大倉山記念館の保存と活用 — 吉村伸一
③川とまちづくり — 本荘克行 人見江一 善家幾雄 森能文
④横浜ふるさと村 — 既存の環境資源をできるかぎり生かす、港北ニュー
⑤ — タウンの基本計画立案のスタンス — 川手昭二
特色あるまちづくりの育成 — 渡辺一彦
歴史的環境の保存と再生の系譜 — 木原啓吉
行政研究／洋館、古民家の保全に助成 — 小沢 朗

新書紹介／カフカの迷宮 — 杉山 爾

●第98号へ一九八八年六月
特集・みなと—現状と新しい動き

- 横浜のみなと — 藤原惠洋
みなとの新しい動き
①横浜のソフト文化の可能性 — 野田邦弘
②京浜工業地帯の変化 — 矢野滋彦 飯田隆 稲村守彦
③新浦島ハイテクビル(仮称)建設事業について — 若林和彦
④金沢木材港のマリーナ計画 — 風間 享
⑤八景島の整備について — 中島実雄 田野口博臣
⑥みなと色彩計画 — 松井良平 北田治 堀内晴彦 松島宏充
市民と港 — 北見俊郎
行政研究／市営埋立て事始め — 田中常義
行政資料／横浜港港湾計画の改訂について — 港湾局企画課
新書紹介／三溪 原富太郎 — 天野行雄
●第99・100号へ一九八九年一月
特集・横浜論
座談会・横浜学を考える — 加藤祐三 佐藤東洋磨
鈴木隆 平野実 中村實
座談会・横浜の市民 — 大庭恭子 金指眞理子
児玉正臣 樋口勇 中西昭雄
座談会・都市横浜を語る — 大倉郁雄 小林弘親
菅孝能 林英傑 森義人

調査季報一〇〇号を迎えて
調査季報総目次・執筆者名索引

調査季報

1989 101 3月

●
横浜市のデータ
人口
3,162,887人〈元・3・1〉
世帯数
1,120,465 〈元・3・1〉
面積
431.57km² 〈元・3・1〉

平成元年(1989年)3月31日

編集・発行
横浜市企画財政局都市科学研究室
231 横浜市中区港町1-1
045・671-2029

横浜市広報印刷物登録
第630092号
類別・分類
A-B A110

印刷
内村印刷株式会社
横浜市中区末吉町1-12